

## 令和4年度本校の全国学力・学習状況調査の結果について

山梨大学教育学部附属中学校

## はじめに

本校では、3年生143名が参加して、4月19日（火）に今年度の全国学力・学習状況調査を実施しました。今年度の調査では、国語、数学、理科の3教科の学習状況調査と学習に関する意欲、方法、環境と生活の諸側面等に関する質問紙調査が行われました。

この調査の目的は、本校生徒の学力や学習状況を把握・分析し、各教科における課題や生活状況の実態などを明らかにすることにより、今後の指導内容や指導方法の改善や生活指導などに役立てることです。8月下旬に文部科学省から返却された本校の結果を分析し、各教科と質問紙調査についてのまとめができましたので、保護者の皆様にお知らせするとともに、本校ホームページにも掲載します。

なお、調査に参加した3年生一人ひとりには、後日個人票を配付しますので、自分の結果を確認し、今後の学習に役立ててもらいたいと思います。

## 1 本校の状況（全国との比較）

- 国語、数学、理科の3教科とも平均正答率は、全国平均を大きく上回り、正答率の散らばり具合も全国と比較すると極めて小さい。

〔参考〕 国公立を含めた全国平均正答率と公立中学校の山梨県平均正答率

	国語	数学	理科
全国平均正答率(%)	69.3	52.0	49.7
山梨県平均正答率(%)	70	51	50

## 2 本校の主な成果と課題

## 国語

- 設問全体を通して、本校の無回答があった設問は14問中2問と無解答率は極めて低い。これは、基礎的、基本的な事項についての理解の高さと、既習事項を活用して問題を解決しようとする学習意欲の高さが現れているものであると考える。
- 設問全体を通して、全国と比較して正答率は高い。すべての設問の正答率が全国平均を上回っているのは、国語に関する基礎的な知識・技能を身につけるための指導を行ってきた成果と考える。
- 問題形式では記述式の正答率が高い。中でも「自らの考えをわかりやすく伝える工夫について記述する問題」についての本校の正答率が高い。授業で扱う全ての領域の中で、自分の考えをまとめたり、課題に対して多角的な視点で考えたり、判断したりすることが定着してきた成果であると考え。
- △ 全国的に正答率が低くなっている設問については、本校でも正答率が低い傾向がある。課題となる設問は、「書くこと」の指導事項のうち、「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く」を問う設問である。解答類型をみると、自分の意見の根拠として必要な情報を引用して書こうとしている様子はあるが、提示された条件のすべてを満たすように記述することには課題が見られた。適切に情報を取り出すことを意識し、注意深く回答を見直す指導を行う必要がある。

## 数学

- 数と式、図形、関数の各領域における本校の正答率は高い。
- 全国では無解答率が高かった問題においても、本校の無解答率は極めて低い傾向にあり、選択式・短答式のみならず、記述式の問題においても平均正答率で全国を大きく上回っている。内容に対する理解力と何とかして

問題を解決しようという意欲が、ともに高いことがうかがえる。

- 記述式の問題における正答率が低くなる傾向は全国的にみられるが、「目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する」設問に対する本校の正答率が高い。
- △ 本校の正答率においては、資料の活用の領域における正答率が他の領域と比較すると低い。特に、「データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」設問においては、全国の平均正答率をわずかに上回る程度だった。
- △ 今回の調査で最も正答率の低かったのは、全国平均正答率と同様に「筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる」設問である。

## 理科

- 設問全体を通して正答率が高く、特に分子モデルで表した図を化学反応式で表す問題やタッチパネルの反応について条件を制御して考える問題の正答率は極めて高い。また、本校において選択式・短答式による正答率の差はなく、無回答率も低い。これらのことから基礎的・基本的な知識が身に付いているといえる。
- 全国的な課題として、エネルギーや地球の分野での誤答が目立つが、本校生徒はいずれの分野でも正答率が全国平均を上回った。
- 考察の妥当性を高めるために実験計画を検討する問題、アリの行列の作り方について探究する問題、予想や仮説と異なる実験結果が出る場合についてその原因を考え、探究の方法に見通しをもって考える問題では、全国の正答率と比べて高い正答率であった。このことから、理科の学習での見通しと振り返りを意識した授業づくりや総合的な学習の時間で繰り返し取り組んできた探究のサイクルの学習の成果が現れていると考える。
- △ 水素を燃料として使う仕組みの例において、全体を働かせるおおもとは何かを回答する問題については、全国平均を少し下回った。このことから、図をもとにして水素を燃料として使うしくみの本質が何かを分析・解釈し、必要な情報を読み取る力の育成が求められると考えられる。
- △ 液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を回答する問題については、全国平均を上回るものの、他の設問と比べて正答率が低かった。このことは、日常生活における生活経験が理科の学習と密接に関わり、結びつきがあることに気づけていないことが原因であると考えられる。

## 3 各教科における主な改善点

### 国語

- \* 漢字の読み書きの学習の継続に加え、言葉が生きて働く知識として身につくように、実生活や社会生活に応じた場面を具体的に設定して指導する。
- \* 書写の指導を定期的に行い、行書の書き方や特徴について知識として身に付けるだけでなく、実際に書く場面を多くとり入れ、知識の定着を図る。
- \* 自分の意見を表現する場面において、根拠を明確にして伝えることを指導する。その根拠として扱う情報については、必要な情報を適切に取り出し、それを生かして、自らの主張を述べる指導を行う。特に意見文を書く際には、「主張と根拠の整合性」や「表現の適切さ」、「情報の信ぴょう性」を意識させた指導を行う。

### 数学

- \* 数学的な見方・考え方を働かせられるように、正答を求めることだけに終始せず、数学的に探求する場面を日常的に取り入れる。
- \* データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるようにするために、次の取組を行う。
  - ・日常生活において統計学習のサイクル PPDAC (Problem・問題, Plan・計画, Data・データ収集, Analysis・

分析, Conclusion・結論)を意識した活動を取り入れる。

・分布の特徴を踏まえながら数学的な表現を用いて判断の理由を説明する活動を充実させる。

\* 自分の考え方をまとめたり,根拠を正確に表したり,方法を説明させたりする活動を意図的に組み込むことで,記述力を養う機会を充実させる。

## 理科

\* 自然の事物・現象を,一領域の観点からだけでなく,領域を横断した総合的な見方や考え方ができるようにするために,多面的,総合的に思考する学習場面を設定する。また,普段からニュースや身近な出来事と理科で学習したことを関連付けるような機会を増やす。

\* 図や表,グラフの情報を正確に読み取り,その本質が何かを分析・解釈できるようにするために,普段の授業から教科書や資料集の図や表,グラフに触れる機会を増やし,その都度考えさせるような機会を増やす。

## 4 質問紙調査の結果から

69の質問項目から,「肯定的な回答が著しく高いもの」または「全国平均と比較して,その差が大きいもの」は,次のとおりとなる。

\* 肯定的な回答とは,「当てはまる」または「どちらかという当てはまる」を合わせた回答。

\* 差が大きいもののうち,全国平均と比較して高いものは○で,低いものは△で表している。

### 【基本的な生活習慣等】

○「普段(月曜日から金曜日),1日あたりどれくらいの時間,テレビゲーム(コンピュータゲーム,携帯式のゲーム,携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか」

○「普段(月曜日から金曜日),1日あたりどれくらいの時間,携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)」

これらの質問については,「1時間以上,2時間より少ない」と回答する生徒が最も多く,「4時間以上」「3時間以上,4時間より少ない」の回答は合わせても1割に満たない。さらに全国平均と比べても大きく下回っている。

### 【挑戦心,達成感,規範意識,自己有用感等について】

○「自分でやると決めたことは,やり遂げるようにしていますか」

○「人が困っているときは,進んで助けていますか」

○「いじめは,どんな理由があってもいけないことだと思いますか」

○「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」

○「学校に行くのは楽しいと思いますか」

○「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」

○「友達と協力するのは楽しいと思いますか」

これらの質問については,肯定的な回答をした生徒が9割を超え,極めて高い結果である。

### 【学習習慣,学習環境等】

△「新聞を読んでいますか」

この質問について,「ほとんど,または,全く読まない」と答えた生徒は,全国平均より低い値であるが5割を超えている。

△「地域の大人に,授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり,一緒に遊んでもらったりすることがありますか(習い事の先生は除く)」

この質問について,「全くない」と答えた生徒は,全国平均と同程度となっており,5割を超えている。

### 【ICTを活用した学習状況】

○「学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」

この質問について,肯定的な回答をした生徒は9割を超えている。

### 【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

○「1,2年生のときに受けた授業で,自分の考えを発表する機会では,自分の考えがうまく伝わるよう,資料や文

章, 話の組立てなどを工夫して発表していましたか」

- 「1, 2年生のときに受けた授業では, 課題の解決に向けて, 自分で考え, 自分から取り組んでいましたか」
- 「1, 2年生のときに受けた授業では, 各教科などで学んだことを生かしながら, 自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」
- 「1, 2年生のときに受けた授業では, 自分の思いや考えをもとに, 作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか」
- 「1, 2年生のときに受けた授業は, 自分にあった教え方, 教材, 学習時間などになっていましたか」
- 「学級の生徒との間で話し合う活動を通して, 自分の考えを深めたり, 広げたりすることができていますか」
- 「学習した内容について, 分かった点や, よく分からなかった点を見直し, 次の学習につなげることができていますか」

これらの質問については, 肯定的な回答をした生徒が9割を超えている。

#### 【総合的な学習の時間, 学級活動, 特別の教科道徳】

- 「総合的な学習の時間では, 自分で課題を立てて情報を集め整理して, 調べたことを発表するなどの活動に取り組んでいますか」
  - 「あなたの学級では, 学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い, 互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていますか」
  - 「道徳の授業では, 自分の考えを深めたり, 学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」
- これらの質問については, 肯定的な回答をした生徒は, 全国平均を大きく上回っており, 9割を超えている。

#### 【学習に関する興味・関心や授業の理解度等(国語・数学・英語)】

- 「授業(国語, 数学, 理科)の内容はよく分かりますか」  
この質問については, 肯定的な回答をした生徒が全国平均を上回っており, 9割になる。
- 「授業(国語, 数学, 理科)で学習したことは, 将来, 社会に出たときに役立つと思いますか」  
この質問については, 肯定的な回答をした生徒が全国平均を大きく上回っており, 8割を超えている。
- 「国語の問題では, 解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について, どのように解答しましたか」
- 「数学の問題では, 解答を言葉や数, 式を使って説明する問題がありました。それらの問題について, どのように解答しましたか。」
- 「理科の問題では, 解答を文書などで書く問題がありました。それらの問題について, どのように解答しましたか」

これらの質問については, 肯定的な回答をした生徒が全国平均を大きく上回っており, 9割を超えている。

## 5 質問紙調査結果から見た改善点

本校には「自分にはよいところがある」, 「将来の夢や目標をもっている」, 「自分でやると決めたことはやり遂げる」, 「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」など, 前向きに自分自身の生き方に向き合っている生徒が多くいる。また, 規範意識, 自己有用感とも高く, 仲間とともに切磋琢磨しながら, 落ち着いた生活を送っている。そこで, 生徒会活動や特別活動を通して主体的に活動し, 成功や失敗の体験をする取組をいっそう充実させたい。そして, それらの学びをふだんの生活に生かし, 自らの手で未来を切り拓くことができる力をより高めたい。

新聞を読む生徒は, 全国平均を大きく上回ってはいるものの, 「全く読まない」と回答した生徒が過半数を超えているので, 今後も「教科横断的な幅広い話題が取り上げられる新聞」を教材として積極的に活用したい。

ICT機器を用いた授業に関しては, 大多数の生徒が肯定的な解答をしており, 昨年度から導入された一人一台パソコンの活用が進んだ結果であるとみられる。今後も生徒の健康面を考慮しながら, さらに効率的で質の高い教育活動を進めたい。

#### 【保護者の皆様へ】

調査結果より本校生徒が学校生活に対して, 前向きに意欲的に生活している様子がうかがえます。今回の結果を参考にして, 教職員一同, 今後も生徒一人ひとりが成長できる学校づくりを目指し努力する決意です。今後とも, 附属中教育へのご理解とご協力をお願いいたします。